



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 エステールホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 7872 URL <https://www.estelle.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 丸山 雅史
問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 横内 達治 TEL 03-6628-8480
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	15,024	0.6	△338	—	△416	—	△656	—
2025年3月期中間期	14,933	△0.8	△317	—	△188	—	△348	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △800百万円（—％） 2025年3月期中間期 △193百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△62.62	—
2025年3月期中間期	△33.27	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	29,383	11,333	36.9	1,034.46
2025年3月期	29,873	12,238	39.9	1,136.80

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 10,838百万円 2025年3月期 11,910百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	27.00	27.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	27.00	27.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,700	1.4	420	122.8	440	39.2	52	—	4.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	11,459,223株	2025年3月期	11,459,223株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	981,653株	2025年3月期	981,653株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	10,477,570株	2025年3月期中間期	10,477,570株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算期に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11

1. 当中間決算期に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いている中、物価高による個人消費の一部弱い動きがみられるなど、また、資源価格や原材料価格の高騰、円安による物価の上昇、米国の今後の政策動向による影響、中国における景気の下振れリスク等、依然として先行き不透明な状況が続いております。小売業界におきましては、エネルギー価格や物流コストの高騰、相次ぐ値上げによる物価上昇や実質賃金の減少による節約志向が依然として継続するとともに、人手不足や最低賃金の上昇等による人件費が高騰し、厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、店頭販売のさらなる拡充の為、人材育成の見直し強化を図るとともに、購買回復に向けた販売促進を積極的に展開してまいりました。また、社内業務の効率化、平準化に取り組むとともにお客様のニーズに対して、きめ細やかな対応をするため、品質・価格・品ぞろえを中心に店舗政策に取り組み、人材育成を強化することによりお客様満足度向上に努めてまいりました。

当社グループの当中間連結会計期間の業績は、売上高が、150億24百万円（前年同期比0.6%増）となりました。営業損益は、3億38百万円の損失（前年同期は3億17百万円の損失）となり、経常損益は、海外子会社における為替差損などにより4億16百万円の損失（前年同期は1億88百万円の損失）となりました。親会社株主に帰属する中間純損益は、6億56百万円の損失（前年同期は3億48百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

① 宝飾品

当セグメントでは、お客さまとのコミュニケーションを強めていく取り組みや、人材育成の強化を進めてまいりました。しかしながら、採用が厳しく、人員不足による人員体制の確保が遅れるなか、営業体制の再構築をはかっていたまいりましたが、宝飾セグメントに対する影響は限定的な範囲にとどまり、外部顧客への売上高は、122億87百万円（前年同期比0.1%増）となり、セグメント損益は、3億14百万円の損失（前年同期は2億35百万円の損失）となりました。

② 眼鏡

当セグメントでは、国内小売事業では、店頭での打ち出し等の見直しや人材育成の強化を進めたことにより、また、海外子会社での卸事業が伸びたことにより、売上高は、17億9百万円（前年同期比9.1%増）となり、セグメント損益は1億15百万円の利益（前年同期は90百万円の利益）となりました。

③ 食品販売・飲食店

当セグメントでは、よりオリジナリティのある商品開発や人材育成に取り組むなど、マーケットの変化に対応すべく施策を進めてまいりました。外部顧客への売上高は、10億27百万円（前年同期比6.1%減）となり、セグメント損益は、原価率の増加や新規出店に伴い販売費及び一般管理費の増加もあり、1億40百万円の損失（前年同期は1億74百万円の損失）となりました。

当中間期における当社グループの主な店舗展開は以下のとおりです。

セグメント	宝飾品	眼鏡	食品販売・飲食店
会社名	As-meエステール(株)	キンバレー(株)	エステールホールディングス(株)
前期末店舗数	336	70	33
新規出店	1	1	0
閉店	△14	0	△1
当中間期末店舗数	323	71	32

（２）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末の298億73百万円より4億90百万円減少し、293億83百万円となりました。主な増減は、有形固定資産の増加5億61百万円と、現金及び預金の減少4億82百万円、受取手形及び売掛金の減少3億17百万円及び棚卸資産の減少3億3百万円などであります。

負債合計は、前連結会計年度末の176億34百万円より4億15百万円増加し、180億50百万円となりました。主な増減は、支払手形及び買掛金の増加2億77百万円及び長期借入金の増加1億87百万円と、電子記録債務の減少2億15百万円などであります。

純資産合計は、前連結会計年度末の122億38百万円より9億5百万円減少し、113億33百万円となりました。主な増減は、剰余金の配当2億82百万円及び親会社株主に帰属する中間純損失6億56百万円などによる利益剰余金の減少9億39百万円などであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末の50億92百万円より4億63百万円減少し、46億29百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは2億34百万円のプラス（前年同期は1億42百万円のプラス）となりました。これは主に棚卸資産の減少3億3百万円、売上債権の減少3億2百万円、減価償却費1億64百万円及び減損損失1億2百万円の資金増加と、未払又は未収消費税等の減少1億22百万円の資金減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは8億4百万円のマイナス（前年同期は1億77百万円のマイナス）となりました。これは主に固定資産の取得7億57百万円の支出及びその他1億4百万円の資金減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動におけるキャッシュ・フローは1億51百万円のプラス（前年同期は6億31百万円のプラス）となりました。これは主に長期借入金の増加2億27百万円（純額）の収入と、配当金の支払2億82百万円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、現時点において2025年5月14日に公表致しました業績予想の変更はございません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,112	4,629
受取手形及び売掛金	2,284	1,967
商品及び製品	10,851	10,531
仕掛品	1,508	1,653
原材料及び貯蔵品	3,944	3,815
その他	222	300
貸倒引当金	△0	-
流動資産合計	23,921	22,897
固定資産		
有形固定資産	1,401	1,962
無形固定資産	127	118
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,218	2,149
その他	2,206	2,257
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	4,423	4,404
固定資産合計	5,952	6,486
資産合計	29,873	29,383
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,211	1,488
電子記録債務	2,470	2,254
1年内返済予定の長期借入金	3,700	3,740
未払法人税等	88	169
賞与引当金	400	420
その他	2,216	2,272
流動負債合計	10,087	10,346
固定負債		
長期借入金	5,902	6,090
役員退職慰労引当金	243	252
退職給付に係る負債	1,280	1,250
資産除去債務	119	109
その他	1	1
固定負債合計	7,547	7,703
負債合計	17,634	18,050

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,571	1,571
資本剰余金	3,367	3,396
利益剰余金	7,289	6,350
自己株式	△662	△662
株主資本合計	11,566	10,655
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74	119
為替換算調整勘定	236	39
退職給付に係る調整累計額	33	23
その他の包括利益累計額合計	344	182
非支配株主持分	327	494
純資産合計	12,238	11,333
負債純資産合計	29,873	29,383

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	14,933	15,024
売上原価	6,587	6,701
売上総利益	8,346	8,323
販売費及び一般管理費	8,664	8,661
営業損失(△)	△317	△338
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	2	2
受取手数料	16	13
為替差益	141	-
その他	6	5
営業外収益合計	167	24
営業外費用		
支払利息	26	40
為替差損	-	58
貸倒引当金繰入額	-	0
その他	11	2
営業外費用合計	38	102
経常損失(△)	△188	△416
特別利益		
助成金収入	1	-
特別利益合計	1	-
特別損失		
減損損失	39	102
店舗閉鎖損失	-	1
助成金返還損	36	-
特別損失合計	76	104
税金等調整前中間純損失(△)	△262	△520
法人税等	70	117
中間純損失(△)	△332	△638
非支配株主に帰属する中間純利益	15	17
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△348	△656

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純損失（△）	△332	△638
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	45
為替換算調整勘定	136	△196
退職給付に係る調整額	3	△10
その他の包括利益合計	139	△161
中間包括利益	△193	△800
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△209	△810
非支配株主に係る中間包括利益	15	10

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△262	△520
減価償却費	187	164
減損損失	39	102
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△45	△45
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11	8
賞与引当金の増減額(△は減少)	21	19
受取利息及び受取配当金	△3	△5
支払利息	26	40
助成金収入	△1	-
売上債権の増減額(△は増加)	570	302
棚卸資産の増減額(△は増加)	△117	303
仕入債務の増減額(△は減少)	△23	72
未払金の増減額(△は減少)	△116	△33
助成金返還損	36	-
未払又は未収消費税等の増減額	△45	△122
その他	13	55
小計	289	342
利息及び配当金の受取額	6	6
利息の支払額	△27	△40
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△90	△73
助成金の受取額	1	-
助成金の返還額	△36	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	142	234
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20	-
定期預金の払戻による収入	35	17
固定資産の取得による支出	△216	△757
敷金及び保証金の差入による支出	△9	△8
敷金及び保証金の回収による収入	69	60
貸付けによる支出	-	△12
その他	△37	△104
投資活動によるキャッシュ・フロー	△177	△804

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,100	2,300
長期借入金の返済による支出	△2,185	△2,072
配当金の支払額	△282	△282
非支配株主からの払込みによる収入	-	206
財務活動によるキャッシュ・フロー	631	151
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	△44
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	622	△463
現金及び現金同等物の期首残高	6,263	5,092
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,886	4,629

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

I 前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

配当に関する事項

配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （百万円）	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年5月27日 取締役会	普通株式	282	27円00銭	2024年3月31日	2024年6月13日	利益剰余金

II 当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

配当に関する事項

配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （百万円）	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年5月27日 取締役会	普通株式	282	27円00銭	2025年3月31日	2025年6月13日	利益剰余金

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	宝飾品	眼鏡	食品販売・ 飲食店			
売上高						
外部顧客への売上高	12,272	1,566	1,093	14,933	—	14,933
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,272	1,566	1,093	14,933	—	14,933
セグメント利益又は損失 (△)	△235	90	△174	△319	1	△317

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結財務諸表の営業損失(△)と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「宝飾品」及び「食品販売・飲食店」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を認識し、それぞれ、19百万円、20百万円を特別損失に計上しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	宝飾品	眼鏡	食品販売・ 飲食店			
売上高						
外部顧客への売上高	12,287	1,709	1,027	15,024	—	15,024
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,287	1,709	1,027	15,024	—	15,024
セグメント利益又は損失 (△)	△314	115	△140	△339	1	△338

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結財務諸表の営業損失(△)と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「宝飾品」及び「食品販売・飲食店」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を認識し、それぞれ、94百万円、8百万円を特別損失に計上しております。